

太子高校の挑戦 その 16

「2016 年度 防災教育チャレンジプラン」に挑戦!

本年度は、太子高校の「挑戦の年」と位置づけて「学力向上」「授業改善」に取り組んでいます。この通信で本校の取組みについてお話することで、太子高校の挑戦について知っていただければと考えています。

平成 27 年 12 月 25 日に、本校宛てに「防災教育チャレンジプラン事務局」から連絡がありました。本校の生徒会が考えた「3 カ国語で作成した太子町防災ビデオ」のプランが採択になったという内容でした。防災教育の強化は、学校教育においても課題の一つです。本校も、避難訓練を始めとする防災訓練は毎年行っています。太子町で行われている、発災型防災訓練にも参加しています。しかし、全校的な意識の向上ということになると、まだまだです。

そういう時に、このチャレンジプランに応募したいと、生徒会のメンバーが手を上げてくれました。防災ビデオを作成することで、「ふるさと太子」をよく知ることができ、地域貢献になります。外国語版を作ることで、災害弱者としての外国の方々に情報を届けることができます。小学校の児童と連携することで、小高連携がさらに進みます。そして何より、全町的に防災意識を高める大きな役割を果たすことができます。こうした狙いが認められたことは、生徒の主体性が認められた証でもあり、非常に嬉しいことでした。

本校生徒会のメンバーが、始業式でチャレンジプランについて説明し、2 月 20 日には東京でプランを発表するのだと報告しました。これから 1 年間の時間をかけて、どのようなものができあがるか。今から楽しみです。太子町との協力体制づくりも、今、進めているところです。生徒が意欲的に考えて取り組もうとしていることを、教師がさりげなく支える学校。それが、太子高校です。

ONE SHOT



本校の保健室前です。身長計と血圧計が、いつでも誰でも使えるように、準備されています。休憩時間や放課後などに、生徒達が計っています。身長計のそばで、「あ！縮んだ！！なんでや？」。なんていう会話を大きな声でしているのは、たいてい男子生徒です。女子生徒は、血圧計の椅子にも座って、楽しそうに話しながら計測しています。この場合は、ほとんど会話は聞こえません。こういうところにも、男女差が現われるのかなと興味深く見ています。友達同士で会話しながら、ちょっとした健康管理もできる。養護教諭の配慮です。

学校の力・イ・ダ・ン

1 月 19 日（火）の朝は、各地で雪が積もりました。自転車通学生が 7 割を超える本校では、通学に難儀した生徒も多くいました。そんな朝の出来事です。凍った地面に自転車のタイヤが滑り、転んでしまった生徒を、そこに居合わせた、たつの消防署救急係の Y さんが手当てしてくださいました。登校時の怪我は心細いものですが、Y さんのご好意で生徒も励まされ、元気を頂くことができました。お礼の電話を消防署に入れましたが、気持ちの良いご対応に、私まで元気をいただきました。多くの方々に支えられて、生徒達が毎日無事に登校できていることを、改めて感じた次第です。ほんとうに、ありがとうございました。